

副議長が交代、新しい議会人事が決まる

5月臨時市議会

大楽毛北2丁目のバスが不便!!

鶴野支援学校前の大楽毛北2丁目、王子製紙の北側の大楽毛3丁目に住んでいる人たちが利用する「大楽毛北2丁目」のバス停。昨年のダイヤ改正で大変なことになりました。

減便したうえに、鶴野支援学校への通学用に、朝は市の中心部から大楽毛へ、下校時は大楽毛から中心部へという編成が中心になりました。地域の人の買い物や通院は、朝7時台に乗ってすぐ用事を済ませてトンボ返りするか、タクシーを利用せざるをえなくなったとのことのお話です。しかも学校のない日は運行しない便が多いようです。

運転手の不足が原因とは思いますが、なんとか対策をとらなくてはなりません。



村上が作成した動画が見れます

村上かずしげ通信 2025.6.1

発行 日本共産党市議会 0154-23-5212

5月22・23日、臨時議会が行われ、宮田まどか副議長が辞任願を提出。宮田さんに代わる副議長選挙が行われました。共産党議員団4人は村上かずしげ団長に投票。結果は松尾和仁議員（市民連）10票、村上議員（共産党）4票、無効10票で、松尾議員が副議長に選出されました。

また、議員の新しい委員会所属も決まりました。共産党議員団の委員会所属についてお知らせします。

異例づくめの議会

(1) 普通なら議長・副議長がコンビで代わるのに、辞任願を出したのは副議長だけ。議長は辞任願を提出せず、ひとり続投です。

(2) 議会当日の朝、畑中議長は創志会を離脱して無所属に。そのあとすぐに、松尾さんも創志会を抜けて市民連に。本会議に先立って開かれた会派代表者会議で、「さっきまで同じ会派だった人が正副議長を占める結果にすべきでない」と発言しました。

(3) 無効票の多さ。おそらく水面下で進めてきた人事の取引が決裂したため、多くの無効票となったのでしょうか。

共産党は一貫して、「第一会派から議長、第二会派から副議長」を選出し、議席数に応じて公平に任務を分担すべきと主張してきました。公正公平な議会運営に心掛けるなら、国会でも多くの地方議会でもしている当たり前のルールです。

総務文教常任委員会	梅津則行(委員長)
経済建設常任委員会	小山秀人
民生福祉常任委員会	西村雅人
議会運営委員会	村上かずしげ
石炭対策特別委員会	西村雅人
都心部市街地整備特別委員会	小山秀人(副委員長)
議会広報広聴特別委員会	西村雅人(委員長)
議会改革特別委員会	村上かずしげ
広域連合(ゴミ焼却施設)議会	梅津則行
公立大学事務組合議会	村上かずしげ

